



仙台発、バリアフリーのまちづくり情報誌

誰でも自由に安全に行動しやすいまち
誰にとってもやさしく利用しやすいまち
誰もがともに助け合い理解しあって生活するまち
誰もがひとを思いやる心を大切にするまち

第 24 号

宮城県ゆずりあい駐車場利用制度が始まりました

平成 30 年 9 月から開始されたこの制度は、宮城県が一定の基準に該当する障害等で歩行が困難な方（※）に対して利用証を交付し、車中のルームミラーに掲示し、障害者等用駐車区画を優先的に利用できることを明確にすることにより、対象者以外の方の当該区画の利用を抑制し、歩行困難者の利便性向上を図るものです。

一般的には「パーキングパーミット制度」と呼ばれ、全国の自治体で導入が進んでおり、圏域を越えて利用証を相互利用することも可能です。

対象となる駐車区画の設置に協力する施設は、宮城県に登録し、対象区画であることを示すステッカーを掲示しています。仙台市内では平成 31 年 3 月末現在、318 施設（うち 224 施設が仙台市が有する施設）が登録されています。民間施設も含め、協力施設の一層の広がりが求められています。



利用証の掲示イメージ

協力施設の登録に
協力ください！



※対象者

身体・知的・精神障害者、難病患者、要介護認定を受けた方、妊産婦、けが人などのうち、歩行が困難な方

詳しくは、宮城県ホームページ

(<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahuku/parking.html>)

をご参照ください。

本推進協議会においても、引き続き、ポスターの掲示やポケットティッシュの配布等により、当該区画の適正な利用に向けた啓発を行っていきます。



このようなゼブラゾーンへの駐車も、車いすの方が乗降する際の支障となり、たいへん困っています。



本推進協議会で作成した啓発用ポスター（地下鉄車両への掲示、加盟団体や市民利用施設への掲示依頼などを行っています。）

バリアフリーマップ作成ワークに参加しました

2020年オリンピックパラリンピック東京大会開催を契機に、バリアフリーの一層の推進に向けて、様々な団体が活動を行っています。

オリンピックパラリンピック等経済界協議会(※)では、全国各地でバリアフリーマップ作成支援プロジェクト等を実施しています。平成30年10月1日に仙台市内でも、仙台商工会議所、仙台市社会福祉協議会、仙台市などが参加して、サッカー競技が予定されている宮城スタジアムへの発着地点である仙台駅周辺のバリアフリー情報を収集しました。

当日は約40名の地元企業の方々、障害当事者の方などが参加し、4～5人の小グループに分かれ、車いす体験を交えながら仙台駅周辺のまち歩きを行い、タブレット端末を使ったバリアフリー情報の収集を行いました。まち歩きに参加した方からは、「車いすでは思っていたより目線が低くなり、かなり恐怖感があった」、「歩道に車両の乗入口程度の傾斜があるだけで、車いすの操作が難しくなった」などの声が聞かれ、普段気付かない街中での障壁について実感する機会となりました。



仙台市障害者福祉協会の阿部会長の講話からスタート。



皆さん真剣な表情で受講しています。



その後グループに分かれて情報収集しました。



当日は多くの報道関係者も集まりました。

当日収集したバリアフリー情報は、ホームページ上（下記 URL を参照）でオープンデータとして公開されているほか、今後、経済界協議会が印刷物として配布することを予定しています。経済界協議会からは、「オリンピックパラリンピックのレガシーを残していきたい企業の方は、ぜひご連絡を。」とのコメントをいただきました。

<https://accessibility.2020.ntt/walkmap/>

QR コードはこちら→



※オリンピック・パラリンピック等経済界協議会（ホームページアドレス <http://kyougikai2020.jp/>）

経団連・商工会議所・経済同友会を中心とした全国の企業により構成された団体。

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会へ向けた気運醸成を図るため、地域の企業や自治体と連携し、各地で障害者スポーツ体験、バリアフリーマップ作成、日本の魅力発信などの、さまざまな取り組みを行っている。

ヘルプマークの配布が始まりました

平成30年12月から、仙台市と宮城県において、ヘルプマークの配布が始まりました。ヘルプマークは、義足を使用している方や内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からはわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の援助を得やすくするためのマークです。

ヘルプマークを身につけている方を見かけたら、電車やバスの車内などで席を譲ったり、何か困っているような様子であれば、お声掛けや可能な範囲でお手伝いしていただくなど、思いやりのある行動をお願いいたします。



配布方法

窓口にてお申し出ください。

- ・障害者手帳の確認、申請書の提出等は不要です。
- ・配布は無料です。
- ・原則、お一人様1個のお渡しとさせていただきます。

配布場所

各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課
障害者総合支援センター（ウェルポートせんだい）
精神保健福祉総合センター（はあとぼーと仙台）
北部発達相談支援センター（北部アーチル）
南部発達相談支援センター（南部アーチル）
仙台市立病院総合サポートセンター
各障害者福祉センター、その他県内各市町村窓口

★平成30年度の協議会活動★

太白区民祭りに参加しました

ひとにやさしいまちづくり推進協議会では、心のバリアフリーに関する周知啓発活動を行っています。

平成30年度は、10月21日に太白区あすと長町杜の広場公園で開催された第30回太白区民祭りに出店し、バリアフリークイズやパネル展示などを行って、市民への啓発活動を行いました。

当日は晴天に恵まれ、前年度を大きく上回る250名以上のお客様にお越しいただき、心のバリアフリーについて知っていただく良い機会となりました。



また、出店ブースにはおいでいただけなかった市民の方々にも、啓発用ポケットティッシュ約1,000個を配布することができました。

また、区民祭りへの出店の他にも、心のバリアフリー啓発ポスターの市営地下鉄・市営バスへの掲示の他、推進協議会加盟団体の皆様や市内全小中学校への配布を行い、周知啓発を依頼いたしました。

ひとにやさしいまちづくり推進協議会

ひとにやさしいまちづくり推進協議会は、障害のある方やご高齢の方、お子様連れの方を含めた全ての方が、建築物や道路、公園などのさまざまな施設を円滑に利用できるよう、バリアフリー整備の普及・推進を目的として平成9年に発足した、仙台市内の福祉・教育・建築・商業・マスコミ関係などの71団体が加盟する協議会です。

誰もがともに助け合い、心のバリアフリーを実践してもらえるよう、バリアフリー設備の点検活動や、イベントなどでの「バリアフリークイズ」の実施、「ひろびろトイレマーク」の普及活動など、バリアフリー推進のための啓発活動を行っています。

ひろびろトイレとは？



ひとにやさしいまちづくり推進協議会では、車いすを使用している方や子ども連れの方など、どなたでも使いやすいトイレのことを「ひろびろトイレ」と呼んでいます。このマークが目印です。

「ひとにやさしいまちづくり推進協議会」は、次の71団体が加入し
～誰もが住みよく、使いやすいまちづくり～ に取り組んでいます。

- ◆仙台市連合町内会長会◆(公社)仙台市老人クラブ連合会◆仙台中央・仙台南・仙台東の各地区交通安全協会◆(特非)仙台・みやぎ消費者支援ネット◆(公社)仙台青年会議所◆(株)河北新報社◆(株)読売新聞東北総局◆(株)時事通信社仙台支社◆日本放送協会仙台放送局◆(株)仙台放送◆(株)宮城テレビ放送◆(公社)土木学会東北支部◆(一社)日本建築学会東北支部◆仙台市子ども会育成会連合会◆仙台市PTA協議会◆宮城県私立中学高等学校連合会◆仙台市私立幼稚園PTA連合会◆(一社)仙台市医師会◆(一社)仙台歯科医師会◆(一社)宮城県理学療法士会◆(公社)宮城県看護協会◆(一社)宮城県作業療法士会◆(社福)仙台市障害者福祉協会◆(社福)仙台市社会福祉協議会◆仙台市知的障害者関係団体連絡協議会◆仙台市民生委員児童委員協議会◆仙台市ボランティア連絡協議会◆CILたすけっと◆日本労働組合総連合会宮城県連合会◆仙台商工会議所◆宮城県中小企業団体中央会◆みやぎ仙台商工会◆(一社)仙台建設業協会◆(一社)宮城県建築士会仙台支部◆(一社)宮城県建築士事務所協会◆(公社)日本建築家協会東北支部◆(一社)宮城県銀行協会◆日本チェーンストア協会東北支部◆東日本電信電話(株)宮城支店◆宮城県百貨店協会◆宮城県理容生活衛生同業組合◆宮城県美容業生活衛生同業組合◆協同組合日専連仙台◆荒町・一番町一番街・一番町四丁目・おおまち・クリスロード・サンカトゥール・サンモール一番町・仙台駅前・名掛丁・長町駅前・本町・宮町・長町一丁目・なかやまの各商店街振興組合◆三神峯はあとふる商店会◆(一社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部◆(公社)宮城県バス協会◆東日本旅客鉄道(株)仙台支社◆(特非)仙台バリアフリースターセンター◆仙台ビルディング協会◆(一社)日本エレベーター協会東北支部◆(公社)日本オストミー協会仙台市支部◆みやぎ生活協同組合◆宮城県麺類飲食業生活衛生同業組合◆宮城県クリーニング生活衛生同業組合◆宮城県行政書士会

<編集・発行> ひとにやさしいまちづくり推進協議会

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7-1

☎022-214-8158 (仙台市健康福祉局社会課内)

ひとにやさしいまちづくり推進協議会ホームページ

ひとやさ

検索

<http://www.city.sendai.jp/chikifukushi/kurashi/KenKotofukushi/shogai/Kyose/barrier-free/suishin.html>